

骨粗鬆症サポートチーム (OST)を発足

このたび骨粗鬆症サポートチーム (OST) を発足しました。

骨粗鬆症サポートチームは、圧迫骨折や大腿骨頸部骨折といった骨粗鬆症に伴う骨折で入院した患者さんを対象に、適切な治療を行い、新たな骨折の発生を予防することを目的としています。

このチームは医師、歯科医師、看護師、理学療法士、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、医師事務作業補助者、医療事務など多職種が連携して骨粗鬆症のサポートを行います。

今後は、院内だけでなく地域のクリニックの先生方とも連携し、適切な治療が継続できるようなシステムを作っていきたいと考えています。

※日本骨粗鬆症学会では、当院のような骨粗鬆症リエゾンサービスの普及・推進を進めています。

リエゾンとは「連絡係」と訳され、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。

それぞれの専門性を活かしたチーム医療を行います。

リーダー 岡本 義之 整形外科主任部長



- 骨粗鬆症サポートチーム (OST) を発足
- PX推進室を新設！
- ロービジョンケア
- 優秀職員・永年勤続貢献者表彰を行いました／職員の頑張り

PX推進室を新設！

例 定例の満足度調査 (PS) + 患者経験価値 (PX)

例の両い両方を受けましたか

満足度調査 (PS)

5: とても満足
4: やや満足
3: 普通
2: やや不満
1: とても不満
0: 無回答

患者経験価値 (PX)

満足はあなたの病気をしっかりと受けとめてくれましたか

☐ はい、いつも
☐ はい、時々
☐ どちらでもない
☐ いいえ



PX推進室 参与
安田 忍
●やさしいもの

2022年4月より、患者中心の医療を実現するため、やわたメディカルセンターにPX推進室を設置しました。

PX (Patient eXperience: 患者経験価値) と訳され、「患者が医療サービスを受ける中で経験するすべての事象」と定義できます。

当院では、医療の質向上に取り組むためにPS (Patient Satisfaction: 患者満足度調査) を2019年から行ってきました。しかし、PSは受けたサービスに対する結果的な満足であり、改善に生かすには困難がありました。近年、患者さんがどの程度満足できたかを測る指標としてPX (Patient eXperience: 患者経験価値) が有用であるといわれています。雑誌で特集され、学会でも演題にPXが採り上げられるようになりました。PXは患者さんが医療機関でケアやサービスを受ける中で経験するすべてを対象に、具体的なかつ客観的な質問を行うため、患者中心性を評価し、医療サービスの改善につなげやすいとされています。

PX向上に取り組むことで、医療の質向上、患者満足度向上、クレームの減少、医療経営指標の向上、職員満足度の向上につながるとされています。

当院での主な取り組み

今後の活動予定ですが、講演会、PXサーベイの実施、ニュースレターの発行、サービスの分析や改善案の立案など活動を行っていきたく思います。今年度はPX (PX認定エキスパート) 養成講座に4名が受講します。

- ・PX (Patient eXperience: 患者経験価値) サーベイ実施のための組織・システムづくり
- ・定期的なPXサーベイの実施・分析・活用・評価
- ・PX向上のための改善活動の推進

これからの医療では、一人ひとりの患者さんの持つゴールや価値自体が正解とされ、そのゴール・価値に合わせた医療サービスの提供が求められます。

PX推進室新設により、さらなる医療サービス向上に努めてまいります。



この印刷物は、さとうきびの搾りかすから作られた
バガスパルプ配合のファインペーパーを使用しています。